

栄養学	1年・前期	2単位	非常勤講師 田中 文子
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32110311

1. 授業のねらい・概要

わが国の食生活や栄養状態の現状を把握するとともに、食品の種類と栄養素の体内での生化学的過程を理解し、健康を維持増進するための適切な食事摂取のあり方及び疾患と栄養との関連、疾患別食事指導の実際について学ぶ。また、ライフステージにおける食生活の特徴や問題点の把握とその対処法について学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. わが国の食生活や栄養状態の現状を把握し、保健、医療、福祉のニーズに対応できる栄養学の基本について説明することができる。
2. 食品の種類と栄養素の体内での生化学的過程について理解し、健康を維持増進するための適切な食事摂取のあり方を実践することができる。
3. 疾病と食事や栄養との関連を理解し、疾患別食事指導の実際とチーム医療の意義を説明することができる。
4. ライフステージにおける食生活の特徴や問題点を把握し、その対処法について説明することができる。

3. 授業の進め方

テキスト、配布資料を中心に講義を進める。

4. 授業計画（講義）

1. 健康と栄養	9. ライフステージと健康教育③
2. 日常生活と栄養	10. 疾患別食事指導の実際①
3. 栄養指導・保健指導	11. 疾患別食事指導の実際②
4. 食物と栄養①	12. 疾患別食事指導の実際③
5. 食物と栄養②	13. 経管栄養と中心静脈栄養
6. 食物と栄養③	14. 栄養管理におけるチームアプローチ
7. ライフステージと健康教育①	15. まとめ
8. ライフステージと健康教育②	

5. 成績評価の方法・基準

試験 60%、授業や課題への取り組み 40%。

6. テキスト・参考文献

テキスト：中村美知子/長谷川恭子編集『わかりやすい栄養学』発行ヌーヴェルヒロカワ
参考文献：香川明夫監修『食品成分表 最新版』女子栄養大学出版部

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

次回講義までにテキストと付録の整理ノートを活用し、復習と予習をしておくこと。(60分程度)

8. 受講上の留意事項

毎日の食生活が心身の健康と密接に関係があることを認識し、自らの食生活を充実させるよう努める。

9. 課題に対するフィードバックの方法

小テスト（確認テスト）実施後、授業内で解説する。
課題レポートにコメントして返却。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合は進級不可。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

該当しない。